

## 学位論文の内容の要旨

専攻	分子情報制御医学専攻	部門	分子神経機能学
学籍番号	14D746	氏名	森 崇洋
論文題目	ABC Dementia Scale: A Quick Assessment Tool for Determining Alzheimer's Disease Severity		
<p>(論文要旨)</p> <p><b>【背景】</b>          認知症スケールは認知機能、行動・心理症状 (BPSD)、日常生活動作 (ADL) ごとに分かれており、これらを総合的に評価できるスケールは限られていた。そのため簡便に多領域を評価できるスケールが求められていた。この点、ドイツで開発されたROSAは、多領域を15分程度で評価できるスケールである。しかし、ROSAはアルツハイマー病 (AD) の重症度ごとに質問のシナリオを変える必要があること、採点上に不明確な点があることなどの欠点があった。そのため我々はROSAの欠点を補う新たなスケールであるABC認知症スケール (ABC-DS) を開発した。</p> <p><b>【目的】</b>          本研究では、ABC-DSの評価者内信頼性、内的整合性、構成概念妥当性、既存のスケールとの併存妥当性および反応性の検討を行った。</p> <p><b>【方法】</b>          ABC-DSは患者の家族などの情報提供者に半構造化面接で質問する。質問項目は13個で、1点～9点の9段階評価である。点数が低いほど認知症の重症度が高い。3点、5点、7点に患者の状態をイメージしやすくするイラストを入れている。AD患者 (重度55名、中等度106名、軽度88名) と軽度認知障害 (MCI) 患者63名の合わせて312名 (80.6±7.1歳) に、ABC-DS、MMSE、NPI-D、DAD、CDRの評価を行った。ABC-DSと他のスケールは別の評価者が施行し、互いの結果は知らせないこととした。評価者内信頼性は、1週後に来院した218名を初回評価と同一の評価者が再度ABC-DSを施行して検討した。また12週後に来院した227名にABC-DSと他のスケールを施行し、12週間の反応性を検討した。</p> <p><b>【結果】</b>          ABC-DSの所要時間は9.96±4.79分であった。          評価者内信頼性は、重み付 <math>\kappa</math> 係数がQ8, Q9以外は0.6以上であり、級内相関係数は0.964であった。内的整合性を示すクロンバック <math>\alpha</math> 係数は0.915、<math>\omega</math> 係数は0.921であった。          因子分析により、13個の質問項目は先行研究同様、ADL、BPSD、認知機能の3つのドメインに分類されることが確認された。因子数3における累積寄与率は0.585であった。各項目の項目反応カテゴリ特性曲線から、各質問項目の質が適切であることが確認された。ADL関連スコア、BPSD関連スコアおよび認知機能関連スコアは、それぞれ対応するDAD、NPI-D、MMSEのスコアと高い相関 (<math>r=0.674, -0.644, 0.698</math>) を示した。ABC-DS総得点とMMSE、DAD、CDR-SB、Global CDRも高い相関 (<math>r=0.747, 0.720, -0.840, -0.828</math>) を示した。          ROC曲線を用いた分析で、ABC-DS総得点が117～101点、100～86点、85～71点、70～13点のときは、</p>			

それぞれGlobal CDRの0/0.5、1、2、3に相当することが示された。

12週間の反応性は、BPSD関連スコアとNPI-D以外は有意に変化していた。ABC-DS総得点の変動係数はCDR-SBの変動係数より絶対値が小さく、ABC-DSの方が高い測定精度を示した。

**【考察】**

本研究によってABC-DSの信頼性、妥当性および反応性を検証することができた。また簡便にADの重症度を評価できることが示された。ABC-DSは日本人で開発されたため他の文化圏で使用できるかどうか、AD以外の認知症に使用できるかどうか、本研究には認知機能が正常な健常者が組み入れられていないため、健常者とMCIまたはADを判別することができるかどうかなどについて、今後更に検討を加える必要がある。

掲 載 誌 名	Dementia and Geriatric Cognitive Disorders Extra 2018;8:85-97		
(公表予定) 掲 載 年 月	2018年 3月	出版社 (等) 名	KARGER
Peer Review	① 無		

(備考) 論文要旨は、日本語で1, 500字以内にまとめてください。